

# LIONカップ 第22回 ジャパン

# トップ12卓球大会

3月3日  
町田オリンピック公園  
総合運動場屋内球技場



女子決勝は、早田ひな(日本生命)と橋本帆乃香(ミキハウス)が対戦。カットの切れ味が良く、攻撃を繰り返す橋本に対し、早田は無理をせず、丁寧なプレーで対応し、裏面で強打を入れ得点を重ねる。結果、早田がストレートで橋本を下し、初優勝を収めた。3位は、サービスからの速攻プレーがよかった安藤美々(東大)、両ハンド攻撃が安定していた長崎美穂(JOCエリートアカデミー)が入った。

## 早田ひな

「体調を崩していたので、早い手前で得点できるプレーを心がけました」と早田。新しい価値観

### 【女子シングルス】予選リーグ

- ▼A ①橋本帆乃香(ミキハウス)2勝  
②竹田由香(日本生命)1勝1敗  
③大島由美子(サンリア)2勝  
橋本帆乃香 5-10 5-15 勝利  
▼B ①長崎美穂(JOCエリートアカデミー)2勝  
②松島由美(十六銀行)1勝1敗  
③橋本ひな(日本生命)2敗  
長崎美穂 3-0 4-14 勝利  
▼C ①早田ひな(日本生命)2勝  
②松島由美(ミキハウス)1勝1敗  
③松島由美(サンリア)2敗  
早田ひな 11-4 3 勝利  
▼D ①松島由美(アズビカ)2勝  
②松島由美(ミキハウス)1勝1敗  
③松島由美(アズビカ)2敗  
松島由美 9-5 9-9 勝利  
橋本帆乃香 5-8 7-6 勝利  
早田ひな 9-6 6-2 勝利  
早田ひな 7-7 5-5 勝利



長崎美穂(JOCエリートアカデミー)  
しっかりとした両ハンド攻撃で威力も高かった



安藤美々(東大)  
前陣での打点の早い両ハンド攻撃で対戦相手を抑えた



松島由美(アズビカ) 松島由美(サンリア) 松島由美(日本生命) 大島由美子(サンリア)



松島由美(アズビカ) 松島由美(サンリア) 松島由美(日本生命) 大島由美子(サンリア)

男子決勝は、水谷隼(木下グループ)と張本智和(JOCエリートアカデミー)が対戦。試合は張本がゲームカウント2対1と先行するが、水谷が前陣で打球点を早くしたり、ボールを叩くようなプレーを繰り返して、張本のリズムを崩し、ミスを誘うと、4ゲーム目以降は連勝し、2大会ぶり4回目の優勝を達成した。3位は、水谷とゲームオールの試合を演じた大島由美子(木下グループ)、両ハンド攻撃に威力のあった神巧也(シチズン時計)が入った。



自分のプレースタイルを覚えて、「勝てるスタイル」で全日本選手権で挑んだ張本に続き、リベンジ成功



張本智和(JOCエリートアカデミー)  
新しい試合が続き、打点の早いプレーで勝つ楽しさ



## 水谷隼

(木下グループ)

### 【男子シングルス】予選リーグ

- ▼A ①張本智和(JOCエリートアカデミー)2勝  
②松島由美(日本生命)1勝1敗  
③松島由美(サンリア)2敗  
張本智和 10-4 7-6 7 勝利  
▼B ①神巧也(シチズン時計)2勝  
②松島由美(桑名県ダイハツ)1勝1敗  
③松島由美(東大)2敗  
神巧也 4-0 12-4 10 勝利  
▼C ①大島由美子(木下グループ)2勝  
②上田仁(シチズン時計)1勝1敗  
③松島由美(東大)2敗  
大島由美子 9-4 5-4 勝利  
▼D ①水谷隼(木下グループ)2勝  
②松島由美(日本生命)1勝1敗  
③松島由美(東大)2敗  
水谷隼 5-10 5 勝利  
張本智和 7-5 3-6 勝利  
水谷隼 9-6 6-3 7-5 勝利  
水谷隼 4-0 3-0 5 勝利



神巧也(シチズン時計)  
前陣で繰り返す両ハンド攻撃は威力十分。ファイトを繰り返すプレーも見せた



大島由美子(木下グループ)  
フォアワークを崩したフォアハンドドライブで、初勝利の快挙を挙げた



松島由美子(アズビカ) 上田仁(シチズン時計) 松島由美子(桑名県ダイハツ) 松島由美子(東大)



松島由美子(東大) 松島由美子(東大) 松島由美子(東大) 松島由美子(東大)